

会 議 録

会議名	令和5年度第3回東浦町ご当地グルメ開発実行委員会	
開催日時	令和5年12月19日（火） 午後2時30分から午後4時00分	
開催場所	勤労福祉会館 2階 会議室1	
出席者	委員	石川恭央氏、近藤晃子氏、鈴木涼子氏、園田祐美子氏、田島由美子氏、中瀬進吾氏、内藤明綱氏、水野善久氏（委員長）、山崎紀恵子氏、竹内理子氏、間瀬千恵子氏
	事務局	高橋ふくし課地域包括ケア推進係主事、成田健康課成人保健係長、青山健康課成人保健係主事、村上商工振興課商工観光係長、尾前商工振興課商工観光係主事、
欠席者	田近美由紀氏、古田純也氏	
議題等	<p>1 ひがしうら Re-Bone グルメ グルぐるキャンペーン“夏トク”協力飲食店アンケートの結果報告</p> <p>2 産業まつりの出展に関する報告について</p> <p>3 ご当地グルメ開発実行委員会の実績報告及び今後の活動について</p>	
傍聴者の数	0名	
審議内容	<p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ ・傍聴人の許可（0名） ・会議録作成にあたり、写真撮影及び音声録音の連絡 ・配布資料確認 ・会議の成立 <p>要綱第6条第2項に基づき、委員の2分の1以上が出席していることから、会議の成立を報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降は、委員長が議事を取回す。 <p>◇委員長</p> <p>委員長あいさつ。</p> <p>（議題1）ひがしうら Re-Bone グルメ グルぐるキャンペーン“夏</p>	

トク” 協力飲食店アンケートの結果報告

◆事務局

11 団体へ依頼。10 団体より回答あり。商品開発難易度は、おからは普通と難しい半々、摘果ぶどうについて9割が難しいと回答。

お客さんの反応として「おからが身近になった」「おからは主役になれない食材」「摘果ぶどうは想定していたより良い反応」と回答。

新規顧客開拓には6割が繋がったと回答。キャンペーンに参加して半数がよかったと回答、「町内の飲食店の情報を知る機会になった」「企画を通じて新メニューの開発につながった」「コンセプトや商品価値が伝わらなかった」との意見あり。

店舗周知は充分と不足していたが半々で回答。「キャンペーン目的での来店は少ない」「楽しさ駆動で人を巻き込めるとよい」と意見あり。

今後のイベントとしては、「歌や体操を作る」「町民から企画を募る」「子ども・子育て世代、高齢者向けの企画、参加店舗間の協力体制があるといい」等との意見あり。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

◇委員長

対象メニューでないものでも、飲食すればキャンペーンにエントリーできると思っていた方が多数。1回目と2回目でエントリーのルールが違うため、参加のハードルを下げた2回目のルールで継続していくことが大切では。

◇副委員長

周知は課題。この先も続けていく理由や手ごたえは。

◆事務局

2回目のキャンペーンはルールを簡素化し、多くの方に参加していただいた。グルメの定着化と協力店舗 PR のため継続していきたい。

◇副委員長

アンケート結果に、食材を通じて骨折予防につながったという記述はない。そもそもの課題である骨折予防を、どのように意識付けできるのか、もう一度見直してもいいのでは。飲食店やおから、摘果ぶどうにこだわるのではなく、骨折予防を普及することを意識できるようにアプローチすべきでは。

◆事務局

根本の目的は骨折予防。次年度以降は食育の取組を通して、骨折予防を含め地域の中で健康づくりを考えられるようにしていきたい。

◇委員長

委員へ発言を促す。

◇委員

参加飲食店の印象として、参加賞欲しさで飲食している方は少ないと感じた。キャンペーンを通じて、骨折予防の企画であることを伝えることもでき、交流が生まれた。一部の人からでも伝えていくことは大切。

◇委員

広報が配布されない世帯では、知らずに終わってしまう。全家庭に直接配布できないか。

◇委員

骨折予防を意識することが委員としてもあまり出来ていなかった。高齢者は口コミで伝わりやすいのでは。より保育園給食からの周知ができるよう検討したい。

◇委員

おからの企画については、関係者の関わりの中で知った。おまんと祭などはポスター掲示などを行っている。人が集まる所で周知してはどうか。

◇委員

全世代への周知は難しい。ターゲットを分けた企画を検討しても良かったのでは。

◇委員

生活応援クーポン券対象店舗ののぼり旗のようにパッと見てわかるものがよい。町民がまず盛り上がるようにすると良いのでは。いつも決まった場所に行くとおかからがもらえるなどの企画も普及活動として面白いのではないか。新聞に記事が掲載されることも有効。SNSをゼロから立ち上げることは、労力に対して成果が見込みにくいと考える。グランドメニューにしてもらえる飲食店があるとより良い。

◇委員

強い骨づくりの狙いもある。健骨を掲げ、強い骨を作るという意味から、食育として、保育園や家庭で根付いていくと良い。周知としてはできることはやったと感じる。継続すること、事前周知を飲食店にも協力いただくことも大切では。目先の1、2年ではなく、何十年先の目標として骨折予防を掲げ、地域で盛り上がるようにもっていけると良い。

◇委員

参加し、体験して、はじめて分かることがある。コミュニティまつりなど人が集まるところで周知しては。継続していくことは重要。コミュニティでのまちづくりは4～5年同じ内容を行った。

◇委員

周知は大変。産業まつりの商工会抽選会でも、町広報誌の折り込みチラシを持参する方は3割ぐらい。広報誌掲載も大事だが、それだけでは不足しているのでは。食育でも、5年10年先を目標にするのであれば、小中学生を巻き込むことが大切。

(議題2) 産業まつりの出展に関する報告について

◆事務局

ブース設置、グルメの代理販売を実施し完売。安城デンビールにリボンビールの販売もいただいた。アグリーダの試飲は、全体の約6～7割が美味しいとの回答。出展の改善点としては、一目でわかるPOPを作成する、ぶどうの装飾をする、アグリーダがジュースとわかるようにする。

◇委員長

販売数についてはどのような印象か。

◆事務局

こちらから声がけして購入に繋がった印象。販売数を多くしても残ってしまうかも。

◇委員

試飲は多くの方に体験いただけたのでは。ブース自体が商品販売している雰囲気がないので、こちらから声がけして購入いただいた。お菓子の販売数としては妥当。ビールは瓶の販売をしていなかったもので、瓶が置いてあったらもう少し売れたかも。天候にも左右される。

◇委員

販売品の方はもっと売れないと思っていた。意外と売れたという感想。試飲はおいしかった。若い人ほど酸味が美味しいと感じたのでは。いろいろ応用が利くのでは。ブースが何をやっているのか分かりづらい、パッと見て販売や試飲をしていることがわかるようにすると良かった。何も知らない人がすぐに理解できるような組み立てが必要。

◇委員

行政も住民も縦割り。自分にとっては、今回の参加でいろいろな人と交流できた。住民として、周囲の人に声掛けするなど役割を果たさないといけないと感じている。何かを販売・企画することは良い経験になった。

(議題3) ご当地グルメ開発実行委員会の実績報告及び今後の活動について

◆事務局

ご当地グルメ開発実行委員会では、グルメのコンセプト、名称、ロゴ、キャラクター、食材を決定した。さらに、令和4年度、令和5年度とグルメキャンペーンを実施、広報に特集を掲載、クラフトビールが完成した。農福連携にもつながった。

ハッピーボーン部会ではレシピ動画の作製。骨折予防月間に

は、浜内千波先生考案レシピで親子料理教室を開催した。

ご当地グルメ開発実行委員会としては今回で終了。今後はひがしうら Re-Bone グルメをツールとして食育推進会議（仮）を展開していく。

◇委員長

委員へ発言を促す

◇委員

メニュー開発に意識が向き骨折予防を忘れてしまう。福祉センターでおからを使って何かできないかと話している。少人数でも何かやっていきたい。

◇委員

健康に良いから食べなさいだけでは繋がらないため検討してきた。知らないうちに骨折予防につながって数字に表れてくと良い。

◇委員

いろいろなお店にいくと、それぞれの工夫、雰囲気がわかった。

◇委員

おからと摘果ぶどう以外を今後考えていくのか。これからも勉強していきたい。

◇委員

何もないところから始まったことがよくここまで形になっている。やっとスタートであり、食育推進会議においてこれからどのように発展させていくのかを考えなければならない。

◇委員

食改として、おからのことをここまで真剣に考えたことはなかった。これからも健康のことを考えていきたい。食改は料理のことが好きな人ばかりなのでこれからも協力していきたい。

◇委員

会議にでなかったら知らないことばかりだった。子どもが小学

	<p>校にあがる際には、給食にグルメがでるとより身近になるのかと思う。</p> <p>◇委員 職員が都やこのおからハンバーグ入り弁当を食べたといっていた。食育推進委員会が大きく活躍してくれるといい。</p> <p>◇委員 飲食店でもコツコツ続けながらやっていると良い。すぐに定番や人気になることはないが、前向きに取り組むきっかけとなった。もともとのスタートである骨折予防を振り返ることが必要。なんとなくふわっとした方向性のままであるので、一人でもいいので何とかしたいという気持ちで動かないと難しい。少しやったくらいで浸透はしない。</p> <p>◇委員長 個人的には、高浜のとり飯や豊橋のカレーうどんのように何かひとつこれ！というものができると良かった。いろいろな立場の方と考えることができて良かった。</p> <p>◇委員長 ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>◇委員長 本日の議題は以上とする。事務局へお返しする。</p> <p>◆事務局 全体を通して意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>◆事務局 閉会を宣言。</p>
備考	なし